令和８年１１月定例会一般質問発言通告表

発言順序	８	議席番号	４	氏名	平　下　尚　己　　議員	１／２

発言項目	要旨	答弁者
１　誰もが安心して人生の最期を迎えるための終活・葬儀支援について	人生の最期をどのように迎え、どのように見送られるのか。これは、誰にとっても避けて通ることのできない問題である。 先日、市民の方から、「冠婚葬祭の中でも、葬儀にはお金がかかりすぎるのではないか。経済的に余裕のない人は、どうすればよいのか。」といった率直な疑問をいただいた。葬儀は、突然その時を迎えることが多く、家族を亡くした悲しみの中で、短期間のうちに葬儀社を選び、葬儀の内容や費用を判断しなければならない。近年では、一般葬だけでなく、家族葬、一日葬、直葬など、葬儀の形も多様化している。 一方で、葬儀費用は内容や規模によって大きく異なり、費用の分かりにくさや、想定していた以上の負担に不安を感じる市民もいるのではないか。また、高齢化や家族構成の変化に伴い、一人暮らしの高齢者や、頼れる親族がいない方、親族がいても遠方に住んでいるなど、死後の手続きを頼ることが難しい方も増えていくことが想定される。「自分が亡くなった後、誰が葬儀をしてくれるのか」「納骨はどうなるのか」「家財の処分や各種費用の精算は、誰が行うのか」、このような不安を抱えている市民もいるのではないか。 さらに、先日、市内の葬祭事業者から、富士宮市民の御家族や親族が亡くなられた際、葬儀の依頼が市外の葬祭事業者に流れてしまうことについて、地域の葬祭事業者としての思いを伺った。地域で長年にわたり葬祭サービスを提供し、市民の人生の節目に寄り添ってきた事業者にとって、市民から選ばれる機会が失われることは、事業継続や地域経済の面からも切実な問題であると受け止めている。 もちろん、葬儀をどの事業者に依頼するかは、故人や御遺族の意思によって自由に選択されるべきものであり、市が特定の事業者の利用を強制するものではない。しかし、市民が葬儀の内容や費用、地域の葬祭事業者のサービスについて十分な情報を得た上で、納得して選択できる環境を整えることは、行政として検討する価値があると考える。 私は、この問題を単に葬儀費用の高騰という問題として捉えるのではなく、市民が生きているうちから自分らしい最期について考え、安心して準備できる環境づくり、さらには地域の葬祭事業者との連携による地域経済の活性化という視点から考える必要があると思い、以下伺う。 (1)　葬儀費用に関する市民の相談実態と支援制度について伺う。 ①　葬儀費用や葬儀社との契約、葬儀内容に関する相談をどの程度把握しているのか伺う。 ②　消費生活センター等に寄せられる葬儀に関する相談の内容や傾向について、市としてどのように認識しているのか伺う。 ③　経済的な理由から葬儀を行うことが困難となった市民に対して、現在、富士宮市ではどのような支援制度が設けられているのか伺う。 ④　国民健康保険や後期高齢者医療制度における葬祭費、生活保護制度における葬祭扶助など、それぞれの制度の内容と利用実績について伺う。	市　長 副市長 教育長 関係部長

令和８年１１月定例会一般質問発言通告表

発言順序	８	議席番号	４	氏名	平　下　尚　己　　議員	２/２

発言項目	要旨	答弁者
	⑤　市民が葬儀費用や葬儀内容について事前に理解し、適切に選択できるよう、消費生活相談等と連携した情報提供の充実を図る考えはないか伺う。 (2)　身寄りのない高齢者等に対する終活・死後事務支援について伺う。 ①　市では、身寄りのない高齢者等が抱える、葬儀や納骨、死後事務に関する不安や相談について、現在どのように把握し、どのような支援を行っているか伺う。 ②　また、本人が元気なうちに、自らの葬儀や納骨、死後事務について準備できるよう支援する仕組みについて、市はどのように考えているか伺う。 (3)　富士宮市版エンディングプラン・サポート事業について伺う。 ①　市においても、身寄りのない高齢者等を対象に、本人が生前に葬儀や納骨、死後事務について準備できるよう、市が関係機関や事業者と連携して支援する「富士宮市版エンディングプラン・サポート事業」を創設することについて、市はどのように考えるか伺う。 ②　制度の導入に向けて、先進自治体の事例を研究し、関係部署や関係機関との協議を進める考えはないか伺う。 (4)　地域葬祭事業者との連携と市民葬儀の仕組みについて伺う。 ①　市民が葬儀の内容や費用について事前に比較検討できるよう、市内葬祭事業者の情報や標準的な葬儀プラン、料金の目安などを、市のホームページ等を通じて分かりやすく提供する考えはないか伺う。 ②　市民の葬儀費用の負担軽減と、地域葬祭事業者との連携による地域経済の活性化を図る観点から、市内葬祭事業者との意見交換や連携の場を設ける考えはないか伺う。 ③　市内葬祭事業者との協定等により、市民が分かりやすく、納得できる料金で標準的な葬儀を選択できる「富士宮市民葬儀」のような仕組みを検討する考えはないか伺う。	